

玉野市(中国ブロック)

【計画期間 24年4月～29年3月】

- ・明治～ : 宇野港の修築、宇野線開通と宇高連絡船の就航により、本土と四国を結ぶ海上交通の要衝としての基礎を構築。
- ・大正～ : 造船所の建設により製造業を中心に発展。
- ・昭和～ : 瀬戸大橋開通に伴う宇高連絡船の廃止により交通体系が劇的に変化。産業構造のソフト化が進み、第3次産業へと移行。

【中心市街地を巡る状況】

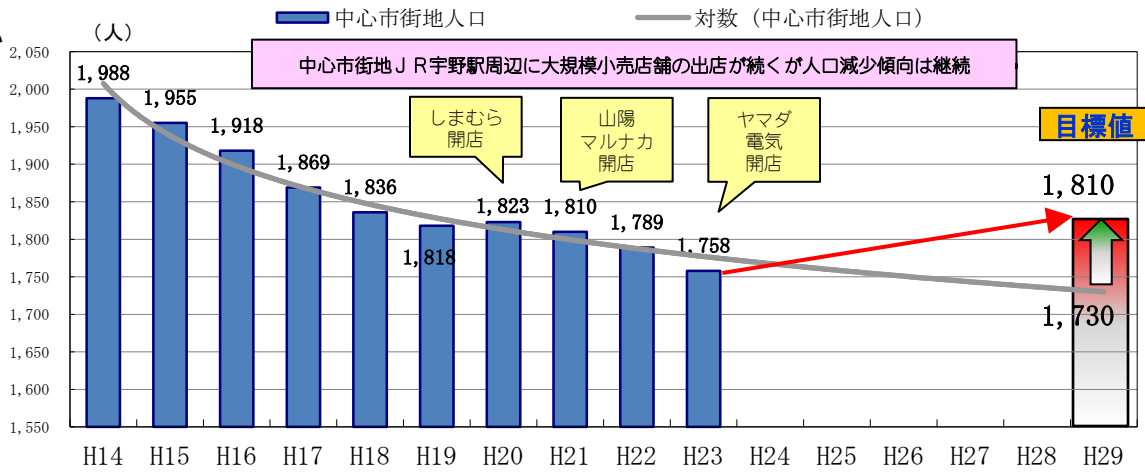
- オイルショック以降、基幹産業であった造船業等不況の影響により人口は減少傾向。
- 岡山市や倉敷市の商圈に属す郊外部への人口流出により、既存商業施設の衰退が加速、中心市街地のにぎわいが低下。
- 宇野駅周辺大規模遊休地の活用により、来街者の滞在・回遊策と一体となった中心市街地の求心性向上への取組を開始。

【中心市街地に関する指標の推移】

- 中心市街地内の居住人口
H1: 2,755人 → H23: 1,758人 (▲36%)
- 歩行者通行量(商店街周辺2地点休平日計)
S62: 2,034人 → H22: 734人 (▲64%)

目標	指標	現況値	目標値
中心市街地内の回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)	4,658人/日 (H22・23)	4,921人/日 (H28)
街なか居住の推進	居住人口(人)	1,758人 (H23)	1,810人 (H28)

【中心市街地内の居住人口の推移と数値目標】



- 中心市街地の回遊性の向上～まちの魅力が連携し、人が集い行き交うまちづくり～
⇒①瀬戸内温泉「たまの湯」事業、②瀬戸内・海のホテル事業、③ののちゃんとアートの街・回遊事業、など
- 街なか居住の推進～生活と福祉が充実し、ふれあいがある住みよいまちづくり～
⇒④移住者支援・交流拠点設置運営事業、⑤高齢者向け賃貸住宅整備事業、など

玉野市中心市街地活性化基本計画の事業概要

街なか居住の推進

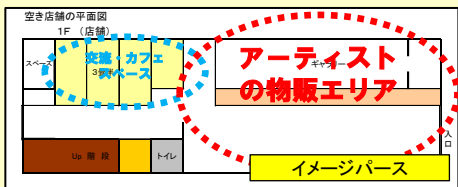
～生活と福祉が充実し、ふれあいがある住みよいまちづくり～

○高齢者向け賃貸住宅整備事業等(⑤)

駅東の広域交流拠点に、高齢者向け賃貸住宅、こだわりの戸建て賃貸住宅、シニア向け住宅を整備。

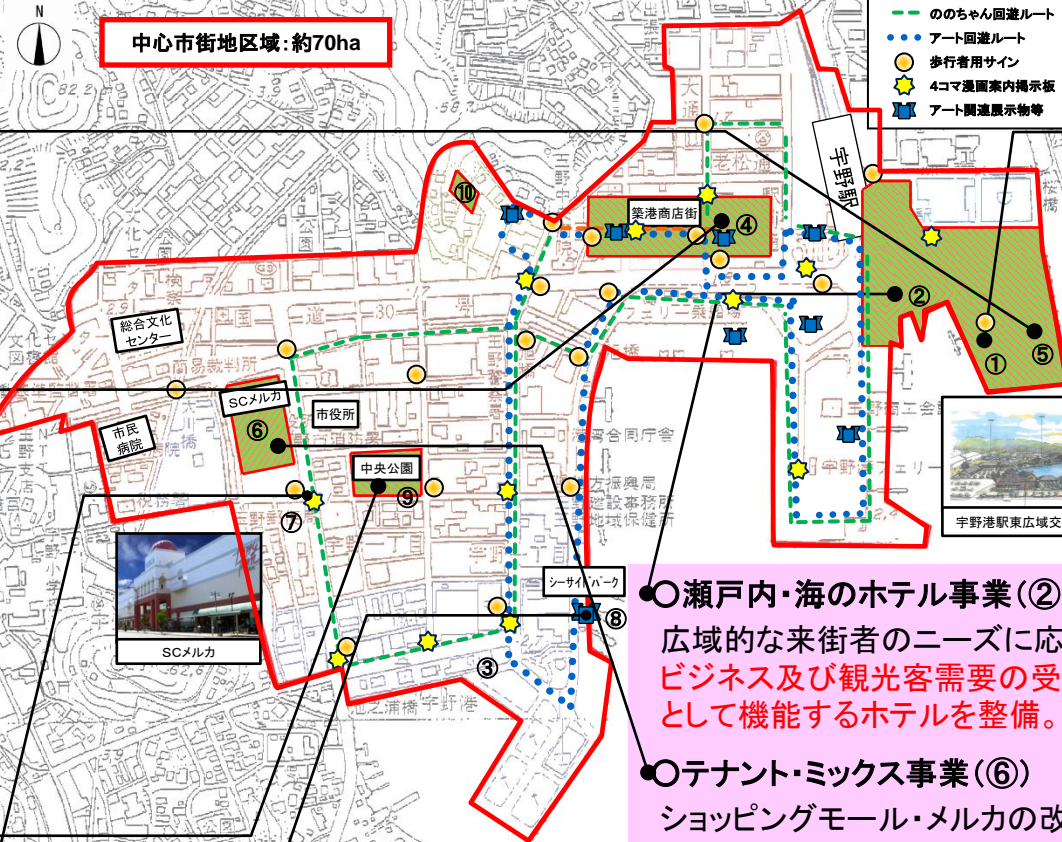
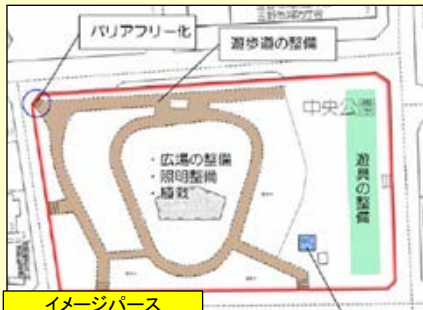
○移住者支援・交流拠点設置運営事業(④)

築港商店街の空き店舗を改装し、若手クリエイターを中心とした移住ニーズを高める支援・交流拠点を整備。



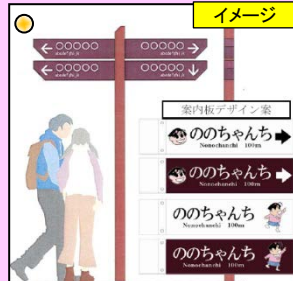
○中央公園魅力化整備事業(⑨)

中央公園をリニューアルし、「街なか健康コース」と連携した回遊ルート



○歩行者用サイン設置事業(⑦)
観光資源及び健康コース」回遊の歩行者サインを設置。

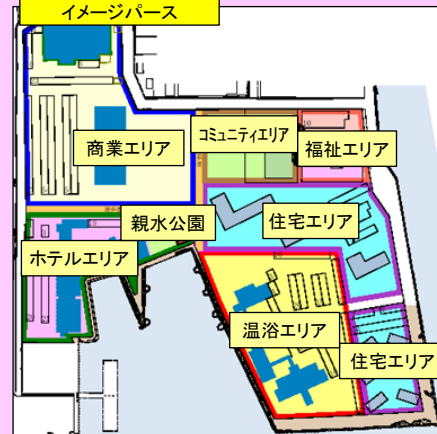
○4コマ漫画案内掲示板事業(⑧)
いしい・ひさいち氏の4コマ漫画による観光案内・情報掲示板を設置。



中心市街地内の回遊性の向上
～まちの魅力が連携し、人が集い行き交う街づくり～

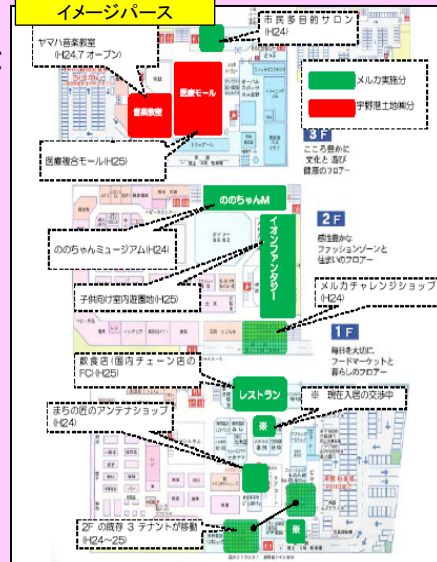
○瀬戸内温泉「たまの湯」事業(①)

来街者の回遊・滞在の拠点として、駅東の遊休地を活用し、広域集客機能を備えた中心市街地の顔となる温浴施設等を整備。



○瀬戸内・海のホテル事業(②)
広域的な来街者のニーズに応え、ビジネス及び観光客需要の受け皿として機能するホテルを整備。

○テナント・ミックス事業(⑥)
ショッピングモール・メルカの改装とともにテナント・ミックスによる業種・機能の再編を実施。「ののちゃんミュージアム」、医療モールや音楽教室の誘致と併せて、多様な世代のニーズに応えるSC機能を整備。



○ののちゃんとアートの街・回遊事業(③)
「ののちゃん」やアートの名所を巡り、市内各施設の割引利用と連動するポイント制ウォークラリーイベントを定期的実施。

○みなと展望 レストラン整備事業(⑩)
玉野B級グルメと地元海産物を提供するカフェレストラン＆料理教室の施設を整備。